



artience

感性に響く 価値を創りだし、 心豊かな未来に挑む

持続的に輝き続ける未来のために必要なこと。

それは、人々が心豊かに暮らすことのできる社会の実現であると考えます。

私たちの役割は、さまざまな技術や発想をつなぎ、社会が抱える課題を解決に導くこと。

自社だけではなく、パートナーと協業しその力を組み合わせることで、
人々の心を満たす美しさや快さ、安心を届けていきます。

目で見えること、触れて感じること、あるいは製品の品質を通して感じることなど
人々の感性に響く価値を創りだし、心豊かな未来の実現に挑み続けます。



代表取締役社長 グループCEO
高島 悟

message こあいさつ

パートナーの皆様とともに 心豊かな未来の実現を目指す

2024年1月、当社は「artience株式会社」に社名を変更するとともに、Brand Promise「感性に響く価値を創りだし、心豊かな未来に挑む」を新たに制定いたしました。社会環境が目まぐるしく変化する中で、変わりゆく時代のニーズ・課題を先んじて見つけ出し、一人ひとりが主役となり、世界の人々に先端の技術で先駆の価値を届ける会社へと変革するという強い決意を新たにしました。

artience（アーティエンス）は、「art」と「science」を融合した言葉です。当社グループは、お客様やお取引先様などパートナーの皆様とともに、生活者の皆様に驚きや感動、ワクワク、心地よさなど、人の心に働きかけるような価値（art）を創りだしていくべく、確かな技術に裏打ちされた機能や高い品質に基づく信頼（science）を磨き上げるとともに、新しい挑戦を繰り返してまいります。

当社グループは、パートナーの皆様とともに創りだす「感性に響く価値」によって、お客様そして社会が抱える課題の解決に貢献するとともに、心豊かな未来の実現に挑み続けます。

about us 会社概要

artience 株式会社 artience Co., Ltd.

- 本社所在地 〒104-8377 東京都中央区京橋2丁目2-1
- 創業 1896年(明治29年) 1月
- 設立 1907年(明治40年) 1月15日
- 代表者 代表取締役会長 北川 克己
代表取締役社長 グループCEO 高島 悟
- 資本金 31,733百万円
- 関係会社 国内13社、海外49社
(連結子会社数56社、持分法適用会社数6社)
- 社員数 (連結)7,930名 (単体)403名
- ウェブサイト <https://www.artiencegroup.com>

2023年9月末現在
(社員数は2022年12月末現在)

philosophy system 理念体系図



history

artienceグループの歴史

日本インキ業界初の株式会社組織の誕生

- 1896 ● 創業
- 1906 ● 顔料生産を開始
無機顔料やレーキ顔料
- 1907 ● 東洋インキ製造株式会社設立



京橋本社 (1910年頃)

インキ会社から化学メーカーへ

顔料・ポリマーを自製化、多角的に乗り出す

- 1920 ● アゾ顔料の自製化
有機顔料の完全合成に成功
- 1926 ● 上海に海外初の出張所を設立
- 1937 ● フタロシアニンブルー顔料の生産を開始
後の電子材料分野進出への足掛かりのひとつに
- 1951 ● ポリマー技術の獲得
インターケミカル社 (現BASF社) と技術提携契約を締結



フタロシアニンブルー顔料

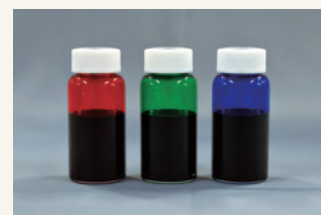


ポリマー (イメージ画像)

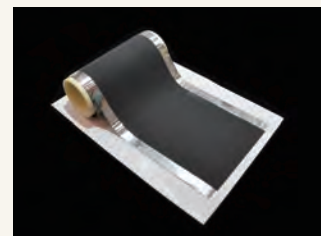
スペシャリティケミカルへの進化

技術を磨きあげ、多様な分野に高機能製品を展開

- 1992 ● 液晶ディスプレイ用カラーレジストインキを開発
- 2011 ● 持株会社制に移行
東洋インキSCホールディングス株式会社に改称
- 2012 ● リチウムイオン電池正極材用分散体を開発
- 2016 ● メディカル事業に参入



カラーレジストインキ



リチウムイオン電池用分散体

「感性に響く価値」を届ける会社へ

- 2024 ● artience株式会社 始動
- 2027 ● 経営計画 artience2027/2030 "GROWTH"
- 2030 ● サステナビリティビジョン asv2050/2030
- 2050 ●

sustainability vision

サステナビリティビジョン

artienceグループは、社会の持続可能性向上に貢献し、かつ自らが持続的に成長するために取り組むべきサステナビリティ課題を整理・特定した重要課題(マテリアリティ)を策定、事業活動を進めてきました。近年の気候変動対応やカーボンニュートラル、SDGsへの取り組みなどサステナビリティへの意識が世界的に高まる中、2022年1月、より長期的な視野での取り組みが必要であると考え、2050年を見据えた当社グループのサステナビリティの実践的な長期目標「artience sustainability vision 2050/2030」(asv2050/2030)を策定し、取り組みを進めています。

asv2050/2030は、2050年を目標年としてあるべき姿に至る方向性と目標を示した「asv2050」と、そのマイルストーンとして2030年にバックキャストした諸目標を示した「asv2030」の2つで構成されています。asv2050/2030は、当社グループのサステナビリティの考え方のベースとして、あらゆる企業活動に展開されています。

	1. 持続可能な社会を実現させる 製品・サービスの提供	2. モノづくりでの 環境負荷低減	3. 信頼される 企業基盤の構築
asv 2030	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ貢献製品 売上高構成比率 80% ライフサイクル視点でCO₂排出削減に貢献できる製品の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量 国内35%削減(2020年度比) 海外35%削減(2030年度BAU比) 廃棄物外部排出量 国内50%削減(2020年度比) 有害化学物質排出量 国内30%削減(2020年度比) 	<ul style="list-style-type: none"> 環境・社会調和な原材料調達の実現 社員の多様性の尊重、自然・地域との共生 絶え間ないガバナンス体制の再構築
asv 2050	<ul style="list-style-type: none"> すべての製品をサステナビリティ貢献製品に お客様の脱炭素化に貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 生産活動でのCO₂排出量を実質ゼロ、環境負荷を最小化 廃棄物の発生を最小化 持続可能な水利用を実現 	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーン、人材・地域活動、ガバナンスを環境・社会貢献の視点で継続的に改革・変革
目標年 (2050年) における ありべき姿	提供する全製品・サービスがサステナビリティに貢献している	モノづくりにおける環境負荷が最小化されている	社会の持続可能性向上に寄与できる企業になっている

business segment

事業セグメント

私たちは創業以来、色材やポリマーなどの素材設計技術と、分散や塗加工といったプロセス技術を磨いてまいりました。これらの技術に耐久性や電気特性など様々な機能を付与することで、付加価値の高い製品を様々な市場領域に提供しています。

色材・機能材関連事業

色材設計技術と分散技術を組み合わせることで、ディスプレイ・センサー用のカラーレジストインキや、リチウムイオン電池正極材用導電カーボンナノチューブ分散体など、さまざまな分野に機能性材料を展開しています。



主な製品	主な用途
有機顔料	印刷インキ、自動車用外装塗料、プラスチック用着色剤
機能性分散体	リチウムイオン電池
表示材料	フラットパネルディスプレイ、イメージセンサー
プラスチック用着色剤	パッケージ、自動車、OA機器・電化製品
インクジェットインキ	段ボール、ラベル、看板、オンデマンド印刷(POD)

パッケージ関連事業

水性・無溶剤・バイオマス・リサイクル促進などさまざまな角度から環境調和型製品を提供し、人々の安全で豊かな生活と自然環境への配慮を両立することで、持続可能な社会の実現に貢献しています。



主な製品	主な用途
グラビアインキ	食品パッケージ、建装材、工業用部材
フレキシインキ	各種フィルム包装、段ボール、紙器

ポリマー・塗加工関連事業

ポリマー設計技術と塗加工技術を用い、素材から開発できる強みを活かしてエレクトロニクスや半導体、メディカル分野などに先端の製品を送り出しているほか、環境調和型製品の開発にも注力しています。



主な製品	主な用途
粘着剤・接着剤	ラベル、パッケージ、エレクトロニクス、太陽電池
機能性フィルム・テープ	エレクトロニクス、工業用両面テープ、看板用マーキングフィルム
コーティング製品	飲料・食用缶、エレクトロニクス、コンクリート建造物
メディカル製品	経皮吸収型製剤、生体適合樹脂
天然材料	食用天然色素、飼料、化粧品

印刷・情報関連事業

artienceグループの原点であり、情報インフラを支える大切な事業です。長年培ってきた技術を応用し、エレクトロニクス用の機能性インキを開発するなど、新たな印刷の可能性に挑み続けます。



主な製品	主な用途
オフセットインキ	新聞、チラシ、書籍、雑誌、紙器、シール・ラベル
スクリーンインキ	パッケージ、エレクトロニクス
金属インキ	飲料・食用缶

global network

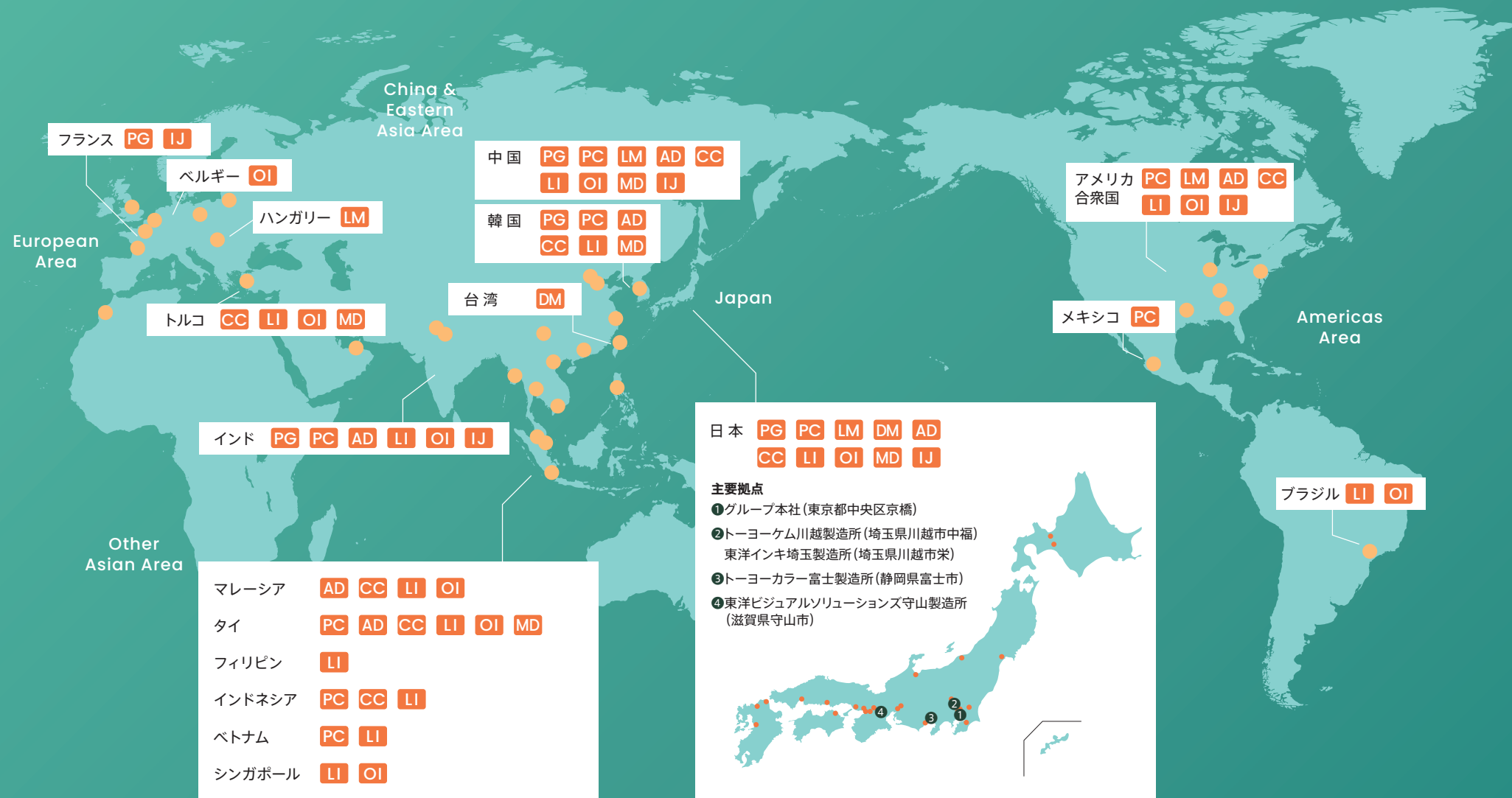
グローバルネットワーク

artienceグループは、世界各国・地域に約70のグループ会社を抱え、グローバルにビジネスを展開しています。

世界中の地域で事業を展開することにより、よりお客様のニーズに合わせた製品を現地で開発、製造することができます。

生産品目

- PG 顔料 PC 着色剤 LM LiB関連材料 DM 表示材 AD 接着剤
- CC 製缶塗料 LI リキッドインキ OI オフセットインキ MD 金属インキ IJ インクジェットインキ



2023年9月末現在

日本

- artience株式会社
- トヨーカラー株式会社
- トヨーケム株式会社
- 東洋インキ株式会社
- 東洋ビジュアルソリューションズ株式会社
- 東洋モートン株式会社
- マツイカク株式会社
- 東洋FPP株式会社
- 東洋ビーネット株式会社
- 東洋インキエンジニアリング株式会社
- 東洋マネジメントサービス株式会社

北米・中南米

- アメリカ** TOYO INK AMERICA, LLC
LioChem, INC.
LioChem e-Materials LLC
- メキシコ** TOYO INK MEXICO, S.A. de C.V.
- ブラジル** TOYO INK BRASIL LTDA.

ヨーロッパ

- フランス** TOYO INK EUROPE SPECIALTY CHEMICALS S.A.S.
TOYO INK EUROPE FRANCE S.A.S.
- ベルギー** TOYO INK EUROPE N.V.
- イギリス** TOYO INK EUROPE UK LTD.
- ドイツ** TOYO INK EUROPE DEUTSCHLAND GmbH
- リトアニア** UAB "TOYO INK EUROPE BALTICA"
- ハンガリー** TOYO INK HUNGARY KFT.
- トルコ** TOYO PRINTING INKS INC.
- モロッコ** TOYO INK NORTH AFRICA S.A.R.L. AU

中国・東アジア

- 中国** 天津東洋油墨有限公司
上海東洋油墨制造有限公司
東洋油墨亞洲有限公司
深圳東洋油墨有限公司
江門東洋油墨有限公司
珠海東洋色材有限公司
江蘇東洋申蘭華顏料有限公司
成都東洋油墨有限公司
四川東洋油墨制造有限公司
- 台湾** 台湾東洋先端科技股份有限公司
- 韓国** 東洋インキ韓国株式会社
韓一東洋株式会社
三永インキペイント製造株式会社

その他 アジア地域

- シンガポール** TIPPS PTE. LTD.
- マレーシア** TOYO CHEM SPECIALTY CHEMICAL SDN. BHD.
- タイ** TOYO INK (THAILAND) CO., LTD.
THAI EUROCOAT LTD.
- フィリピン** TOYO INK (PHILIPPINES) CO., INC.
- ベトナム** TOYO INK VIETNAM CO., LTD.
TOYO INK COMPOUNDS VIETNAM CO., LTD.
- インドネシア** PT. TOYO INK INDONESIA
PT. TOYO INK TRADING INDONESIA
- ミャンマー** TOYO INK MYANMAR CO., LTD.
- インド** TOYO INK INDIA PVT. LTD.
TOYO INK ARETS INDIA PVT. LTD.
- アラブ首長国連邦** TOYO INK MIDDLE EAST (FZE) .



artiencegroup.com

artience 株式会社

発行元：グループ広報室

〒104-8377 東京都中央区京橋2丁目2-1

info@artiencegroup.com

800D00053JAI-PLI023-2000